

# 令和8年度 美術科 2学年 年間指導計画・評価計画

## 1、教科目標

「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

## 2、評価の観点及びその趣旨

### 【知識・技能】

対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。

### 【思考・判断・表現】

造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

## 3、第二学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品など造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

## 4、指導計画・評価計画表

		観点・評価規準			
月	指導計画	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法
4	デッサン（2時間）	対象を正確に描こうとし、鉛筆の表現技法を使うことができる。	手のポーズや構図、バランス、線を重ねていくことで見えてくる表現の違いを見取り、良さを味わうことができる。	・対象をよく観察し、正確に表現しようとする。	・授業の取り組み姿勢 ・作品 ・定期テスト

4 5 6 7 9	透視図法（2時間） 「私のフナキボ」風景画 （8時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>透視図法を理解し、直線や奥行きを丁寧に表現し、創意工夫して制作することができる。</li> <li>絵の具の特性を生かしながら着彩することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の風景に思いを込めて、感性や色彩感覚を働かせ、創造的な構成を工夫して構想し、表現しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主題を基によりよい表現を目指して粘り強く課題に取り組み、計画的に制作しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取り組み姿勢</li> <li>作品</li> <li>定期テスト</li> </ul>
6	浮世絵 ジャポニスム鑑賞 （1時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>西洋と日本美術の文化的背景や画家について理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色彩や造形的美しさなど、感じとったことを基に、美術や美術文化に対する見方を広げたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸外国や日本の美術文化に関心をもち、よさや美しさを感じ取ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取り組み姿勢</li> <li>振り返り鑑賞シート</li> <li>定期テスト</li> </ul>
10 11 12 1	木彫（15時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>彫刻刀の種類や扱い方、木材の特性を理解し、機能美を考え自分なりの表現方法を工夫して制作することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主題を基に想像力を働かせ、材料の特性を生かし、心豊かな表現の構想を練り自分なりの表現方法を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主題を基に材料や用具の特性を生かし、表したいイメージを持ちながら、自らの表現意図に合う方法を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取り組み姿勢</li> <li>作品</li> <li>定期テスト</li> </ul>
11	現代美術鑑賞（1時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本及び諸外国の表現形式や構成、技法などのよさ、新たな表現方法への理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色彩や造形的美しさなど、感じとったことを基に、美術や美術文化に対する見方を広げたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々なアートプロジェクトや身近なデザインについて関心をもち、よさや美しさを感じ取ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取り組み姿勢</li> <li>定期テスト</li> <li>振り返り鑑賞シート</li> </ul>
1 2 3	動物キャラクターデザイン （6時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料の特性を考え、表現に生かすことができる。制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナルキャラクターのデザインのイメージを膨らませ、感性や感覚を働かせて、心豊かな表現をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主題を基に材料や用具の特性を生かし、自らの表現意図に合う方法を工夫している。粘土造形の良さや造形的美しさを味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取り組み姿勢</li> <li>作品</li> </ul>